

羊ヶ丘スラローム総会

齊藤みはる

11月16日(日)会長宅にて「25・26年度 羊ヶ丘スラローム総会」が催されました。

まず会長から、「皆さんが無事に41年目を迎えることができた」とはとても自信になりました。スポーツは万人のもの平和でなければ成り立たない、というスキー協の理念のもと、リフト代の値上げを上手に乗じ切ります、「まずは転ばない」とを念頭に26年度も健康で安全なスキーを楽しむよ」との挨拶のもと、乾杯!!

議事次第に沿つて議論は順調に進み、欠席者が多い中、冬例会の担当者選出も司会者がサクサク進めてくださり予定時間で終了しました。

恒例の懇親会は欠席者が多く料理が少ないのではないかと心配の声もありましたが、生寿司のにぎり、栗ごはん、チニジア料理、インド料理、ふろふき大根と味噌だれ、煮しめ、カボチャパウンドケーキ等々お腹いっぱい楽しみました。私が岡山県のきびだんこのお土産を持ってきたいきさつから、私の暗い過去、数奇な運命、波乱万丈の話にみなさん興味をもつて聞いていただきました。これはスラロームニュースに連載してはどうか??以外な展開に…

小島さんのご主人の恋バナの話も出て、何だか想定外の盛り上がりのうちに懇親会はお開きとなりました。(参加者12名 欠席者7名)



諸般の事情により、総会報告時の計画から日程、担当者の変更があります

羊ヶ丘スラローム

ニュース 2025年12月1日発行



12月例会は7日(日)21日(日)国際スキー場です

11月24日(金)「今シーズンの課題を学ぼう」と会員12名が奈良宅に集いました。チユーティーは野尻技術部長で、YouTubeから「2025全国スキー協中央研修会・スキーの技術と指導法」のテレビ映写からはじまりました。皆の第一声は「用語が難しい・理解できない」「説明が下手」からはじめ、「向い角とはなに」「進展加圧と内向傾の関連は」「3関節の平行移動とは」等々疑問が次々に出されました。さらに「骨盤の前傾は自分で確認することが大切」「股関節の平行移動は外脚の外転ポジションに連動か」「向い角を使うズラシ操作はスピードコントロールに必須」など議論に発展しました。

また「歳とともに体力や筋力が落ちてくるので、猫背になりなかなか思うポジションがとれない」との悩みや「指導者任せではなく受講者による自身の滑りの欠点を自覚した粘り強い基礎練習が大切」などの意見も出されました。

持ち寄ったお茶・お菓子・柿などをつまみ乍ら約2時間、侃々諤々(カンガクガク)の勉強会となり、今シーズンも無理せず怪我の無いスキーを楽しもうと誓い散会しました。

要点・まとめなどの資料を作成いたくなど、野尻チユーティーお疲れさまでした。(参加者12名)

奈良 孝一